

# 天然資源から有用生理活性物質の探求研究

山形大学農学部 生物資源学科 准教授 塩野 義人

連絡先 E-mail:yshiono@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp TEL:0235-28-2873

キーワード:微生物・医薬・農薬

## 概要

微生物が作り出す天然由来の物質には人の考えも及ばない化学構造や生活活性を示すものがある。これまで注目されなかった微生物から医薬・農薬の「薬のもと」を探索し展開している。

## シーズの特徴

微生物は我々の生活に密接にかかわり、恩恵を与えてくれている。

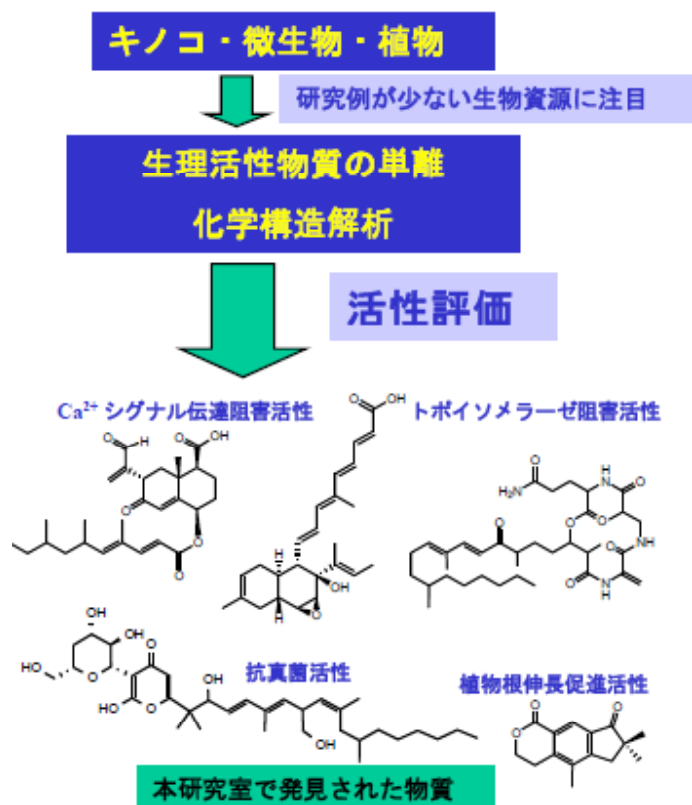
酒やチーズしかり、医薬品しかり。半世紀前に見つかったペニシリンやストレプトマイシンは代表的な抗生物質で微生物から有用な生理活性物質を探し出す契機になりました。

当研究室では、これまでにあまり注目されてこなかった天然資源に注目し、それらから新規な生理活性物質を明らかにすることを研究テーマにしています。

研究室が探索に取り組んだカビにチャワンタケ類があります。木の枝の内側に生えていたカビを培養したところチャワンタケ類のアンスコラビア属であることが判明しました。

生物試験を進めると、成人病治療や抗がん剤などの薬剤開発に期待できるカルシウムイオンシグナル伝達障害活性を示す活性物質を明らかにしました。(右図)

全く新規な物質であり、「アンスコラビク酸性A」と命名しました。



## これまでの活用事例・技術移転

なし

## 研究者からのメッセージ

世の中に役立つ物質を探しています。

## 参考情報

特開2007-197354

問い合わせ先: 山形大学国際事業化研究センター E-mail:big-i@yz.yamagata-u.ac.jp  
Tel:0238-26-3602